

天塩岳・天塩川魅力発信プロジェクト（H26（2014）年度～R3（2021）年度）

□プロジェクトの目的

市の地域資源である「天塩川」や「天塩岳」などの豊かな自然環境を生かし、その魅力を高めるとともに、積極的な情報発信に努め、地域ブランド化の推進と交流人口の拡大を図る。

□事業実施年表

年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
①土別の水商品化	無料配布用製造 7月 30,000本製造 12月までに10,800本使用			販売用製造 6月 24,000本製造 市が12,000本買い取り 6月 販売終了 配布終了（11,778本使用）				
②つくも水郷公園の再整備	水郷公園再整備事業 H26.4月～H30.3月							
③天サイダーの商品化	試供品製造 6月 試供品6,000本製造 (3,000本をピートまつりで配布)	販売用製造① 12月 販売用12,000本製造、取り扱い8店舗	販売用製造② 12,000本製造	販売用製造③ 12,000本製造 7月 ピートまつりで	販売用製造④ 9,000本製造 取り扱い18店舗に増加 アレンジメニュー試飲（約1,100食）	販売用製造⑤ 9,000本製造	販売用製造⑥ 8,000本製造 翔雲高校と協力隊員で ラベルをデザイン	販売用製造⑦ 9,000本製造、6月販売
④天塩川源流まつりの開催	参加人数等：33,000人	参加人数等：35,500人	参加人数等：19,500人 ※雨天によりパレード中止	参加人数等：13,450人 ※雨天決行	参加人数等：22,500人 ※雨天決行	参加人数等：31,800人	※新型コロナウイルスの影響で中止	花火大会・みこし ライトアップ等開催
⑤天塩岳登山道の整備	登山コース（西天塩）0.4km整備	天塩岳標識設置（西天塩山頂）、パンフレット作成（1万部）			新道コース整備（踏み板設置）	連絡道新コース0.75km整備		避難小屋整備
⑥岩尾内湖白樺キャンプ場の環境整備	展望台安全柵設置	公衆トイレ解体（B地区）	キャンプ場管理棟整備（スロープ改修）					
⑦天塩岳・天塩川流域の鳥瞰図							鳥瞰図作成	
⑧松浦武四郎に関する取り組み						7月：特別展示（756名来館）、講演会（45名参加） 8月：松浦武四郎展見学バスツアー（43名参加） 生誕200年記念式典参加 生誕地視察（武四郎まつり）	武四郎カードの配布 ※緊急事態宣言中は中止	絵本作成、配布

□今後の展望

①土別の水商品化 ・市内外に広く配布、販売したことで、天塩川や「水とみどりの里・土別」の情報発信の役割を果たした。	完了	②つくも水郷公園整備事業 ・再整備を実施したことで市内外の利用者が増加し、公園に隣接している天塩川の魅力発信に繋がったものと考え。	完了	③天サイダーの商品化 ・市内外に広く配布、販売をしたことで、地域の活性化に繋がった。今後も販売元の「羊と雲の丘観光（株）」で継続するとともに、土別翔雲高校と連携して魅力発信を継続する。	継続	④天塩川源流まつりの開催 ・本市の夏の一大イベントであり、まちの賑わいや地域の活性化が図られ、交流人口の拡大に繋がった。今後も継続して開催。	継続
⑤天塩岳登山道の整備 ・登山客が安全に登山できるよう、登山道の環境整備を進める。	継続	⑥岩尾内湖白樺キャンプ場の環境整備 ・利用者が安全に使用できるよう、キャンプ場及び周辺観光地の環境整備を進める。	継続	⑦天塩岳・天塩川流域の鳥瞰図 ・周辺施設やイベント、動植物の情報が一体となった鳥瞰図を作成、配布したことで、地域ブランドとして広く周知し定着したと考える。今後も情報を更新ながら活用する。	継続	⑧松浦武四郎に関する取り組み ・松浦武四郎による天塩川流域の踏査を通して歴史や文化を紹介したことで、情報発信の役割を果たした。今後は博物館事業の1つとして実施する。	継続

□まとめ

- ・プロジェクトの目的である「地域ブランドの推進」及び「交流人口の拡大」は、実施事業を通して一定の成果が得られた。
- ・実施8事業のうち、2事業が完了。6事業は今後も継続して取り組む。
- ・継続事業についても、交流人口の拡大などで成果が得られた。今後は、各事業の所管部署が関係団体と連携して取り組みを実施し、さらなる魅力発信に努める。